

歩行者誘導のポイント

1 早めに・大きく・はっきり・分かりやすく・見やすく

自動車は、すぐに止まれません。

旗は、早めに出し大きく・ハッキリと分かりやすく、見やすい歩行者誘導に努めましょう。

2 安全を確かめて

自動車を無理に止めるのではなく、自動車の進行の切れ目を見て旗を出しましょう。

また、旗を出しても気づかず又旗を無視して進行する自動車があるか注意し、安全を確かめてから歩行者を渡らせましょう。

3 リーダーを決める

複数の時は、リーダーの笛に合わせて一斉に旗を使いましょう。

旗の柄は、できるだけ長く使いましょう。

4 横断は、走らず速やかに

走らず速やかに横断することを習慣づけて、停止車両等に対しての感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

5 周囲の安全確認

横断待ちの時は、暴走してくる車両等から歩行者と誘導者自らを守るように、常に周囲に気を付けましょう。

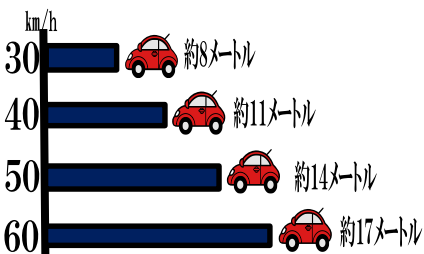
また、回避場所等を事前に確認しておきましょう。



まとめ知識



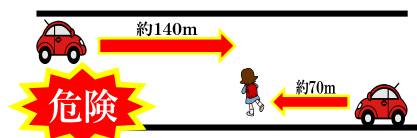
* 自動車が1秒間に走る距離



* 人の歩く速さは1秒間に約1メートル

但し 子供・お年寄り約0.5メートル

(例) 道幅10m 時速50キロの車で
右は約70m左は約140m付近に
車が来ていたら横断するのは危険です。



歩行者誘導の手引き



誘導者の動作や合図で、危険から他人の命を守り、自分の命を守ります。

的確な誘導を心がけ、事故のないように十分注意しましょう。

また、「誘導者がいるから大丈夫」と依存心のみを助長させることなく、横断者自ら安全確認をして、安全に行動する習慣をつけるように配慮することが大切です。

群馬県警察本部

服装は？



- 視界を遮るような帽子
- ミニ・ロングスカート
- サンドル・ゲタ

- 活動しやすい服
- 目立つ服



誘導場所に着いたら・・・

- 見通しを妨げるものはないか。
駐車車両や障害物等は移動等してもらいましょう。
- 天候・時間帯によって自動車の量や流れは変化します。
交通の状況を観察し、その場に合った誘導を考えましょう。

誘導位置等の選び方

- 見通しが良く、とっさの危険を回避できる場所
- 車の走って来る側に立つ

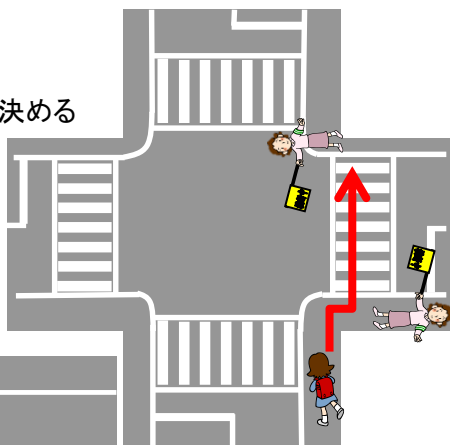
1人の場合

歩行者の流れによって誘導位置を決める

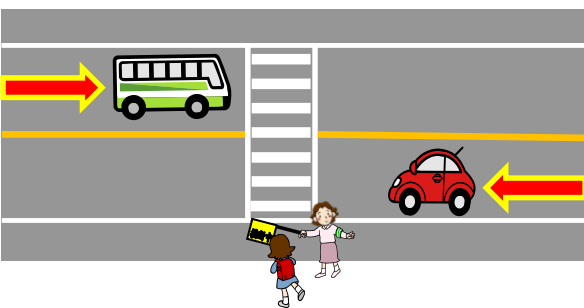
2人の場合

リーダーを決め、リーダーの笛に合わせて一斉に旗を使用する。
対角線に立つ

十字路の場合



単路の場合



安全な誘導手順

1 信号等で待つ時は・・・



信号等で待つ時は、旗を水平に出し、歩行者が道路に出るのを阻止します。
また、車道のすぐそばで待つのではなく内側で待つように心がけましょう。

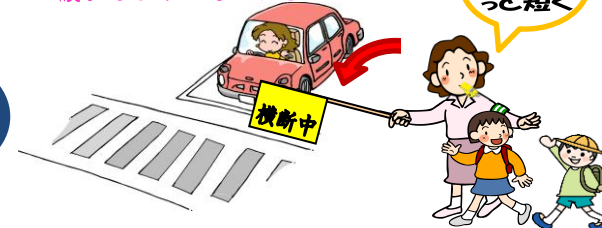
2 旗を出す場合は・・・

旗を出す場合は、左手で子供が飛び出さないようにし、笛に合わせて旗を左から斜めに前方45度の高さに上げる。

これは、信号機でいえば黄色の信号を意味する大切な予備行動です。

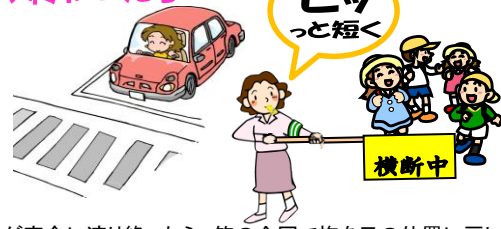


3 渡れるようになったら・・・



笛の合図で旗を水平に下ろし、車が完全に停止したか、確認してから左手で子供を誘導します。

4 渡り終わったら・・・



子供が完全に渡り終わったら、笛の合図で旗を元の位置に戻します。

待たせておいた運転者に感謝の意味を込めて会釈し、次に渡ろうとする子供達への注意が必要です。

早めに

大きく

はっきり

分かりやすく